

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は956名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.72 Mくん（令和2年3月卒・航海専攻・現19歳） かつお一本釣り漁船

Q 仕事の内容は？

- ・ 魚こし※、釣り、機関ワッチなど
- ※ ブラインと呼ばれる不凍性の液体が入った容器から凍結庫に魚を移す作業

Q 大変な事は？

- ・ 魚こしのために早朝から作業をすること
- ・ カツオより大型のトンボマグロを釣り上げること

Q 良い事、楽しい事は？

- ・ インドネシアやキリバスの船員たちと話しをすること

Q 学園在学中の思い出は？

- ・ 早朝のランニング

Q 学園で学んだ(身に付けた)事で、現場で役立っていることは？

- ・ ロープワーク

Q 学園に入学・卒業して良かったと思うことは？

- ・ 学園に入学しなければ、焼津に帰港しても船の仲間しか話をする人がいなかったが、学園に入学・卒業したことで、先生方や同期の仲間たちに愚痴や悩み、相談事などができる。自分の地元以外に新しいホームができたことが良かったと思う。

☆ 在學生にアドバイス

- ・ 授業中、先生方が操業（航海）中に体験したトラブル談を聞いたが、現場に出ると同じようなトラブルに遭遇することがあり、先生方の話が役に立った。授業中は寝ないで、先生方の話をしっかり聞いた方がいいと思う。

（令和2年6月15日）